

# 柝の木からの手紙

2016年 12月号



天の異変、人心の異変か？

過ぎて見れば何の事はありませんが早い積雪に農作物の収穫に苦労し、一般畑の秋播き小麦の雪腐れ病の防除が出来ない事を心配していた11月。

11月3日夕 ～ 11月14日 積雪状態  
14日 ～ 21日 無雪  
22日 ～ 23日 積雪  
23日 ～ 12月 1日 雪少なく土見える  
12月 2日 ～ ?? 無雪

12月 師走						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

根雪になったと思っていた雪が急激に融け始め11月16日に小麦の防除ができました。続けて17日からは、有機JASの黒大豆の処理（脱穀・殻の散布・唐箕掛け）を行いました。

11月21日には一般圃場に、諦めていた堆肥の散布を行う事が出来ました。その日の夜には、堆肥を畑にすき込む作業も完了して翌朝には積雪状態になりました（やって良かった）。

7日： 大雪

14日： 満月 : 旧暦 11月16日

21日： 冬至

29日： 新月 : 旧暦 12月 1日



11月17日

黒大豆脱穀

この殻は、  
自然の畑に  
散布しました。



11月18日

黒大豆

唐箕掛け

この後、手選別  
小分けして12  
月から出荷し  
ます。



11月24日 例年より積雪が少ない状態ですが、今後の降雪を予定して自然農法圃場全面に粒状米糠（植物性の有機質資材）の散布（反当たり136kg）を行いました。

昨年は無施肥の2反程以外の圃場に醗酵鶏糞（動物性の有機質）も散布していましたが、自然農法ガイドラインの改定に即応できる様に動物性の資材の使用は控えました。

圃場表面には、枯れた雑草の茎葉が散乱し所々ハコベ等の雑草が細々と息づいています。ポツポツと表面にある粒が粒状米糠。

年が明けて雪融けの頃にはこの米糠を餌として多くの土壌微生物が繁殖する事を期待しています。